

芽室町総合計画

第4回審議会議事録

日時 平成19年11月19日(月)20時15分

場所 めむろーど2階セミナーホール

芽室町総務部企画財政課企画財政グループ

会議次第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
- (1) 基本構想及び実施計画(審議会案)の最終確認
- (2) 答申文案について
- (3) その他
- 4 閉 会

出席委員

堂畑忠雄、家内裕典、小山友子、武藤保宏、明瀬幸子、西本富行、莊司和子

欠席委員

青木昇

傍 聴 人 1人

町側出席者

総務部長 岸本 昇

(事務局)

企画財政課長 手島 旭

企画財政課長補佐 松浦 智幸

企画財政グループ主査 石田 哲

同 主任 小林 徳昭

同 主任 斉藤 冬樹

第4回総合計画審議会 議事録

午後8時15分 開会

1 開 会 手島企画財政課長

2 議 事

(1) 基本構想及び実施計画(審議会案)の最終確認

堂畑会長

前回、第3回の審議会で議論した将来像について再度議論する。

家内委員

高齢者に何らかの表現が必要だと考える。「人にやさしく」など入れてはどうか。

武藤委員

将来像のフレーズは、社会環境の変化や時代の流れも考慮する必要はあろう。「子育て」と謳うことはインパクトが強い。道も国も子どもに力を入れている。

老人が増えていくことは周知の事実。あえて謳わなくともそういう環境にある。少子化は重要な問題であり、将来に影響する。そういう時代背景にあることに触れればよいのではないか。「子ども」という特徴を外してしまうと、漠然なものになってしまう。

荘司委員、小山委員

「みどりの中」や「活力」、「協働」はあってもよいと思う。

堂畑会長

「おもいやり」という表現を付け加えることで高齢者への対応も表現してはどうか。

以下主要な案

「みどりの中で 子どもにやさしく 思いやりと 活力に満ちた 協働のまち」

「みどりの中で 人にやさしく 活力に満ちた 協働のまち」

武藤委員

「子ども」を抜いてしまうのは如何なものか。事務局としても入れたいのでは。

事務局

「子ども」がなければならないという訳ではないが、まちの特徴は出すものとしたい。

家内委員

意見が分かれるので、会長に一任する。

では、「みどりの中で 子どもにやさしく 思いやりと 活力に満ちた 協働のまち」でよろしいか。
(了解) 審議会案として決定する。

(2) 答申文案について

事務局から文案提示。

意見

- ・「生活者の視点に立った」という文言は、財政運営を基本とし~の後ろとした方が適切。
- ・「取組の立案に向けた意識掲揚~」の意識掲揚は不要ではないか。
- ・「進ちょくを随時把握」の随時は削除した方が適切。

以上をもって、答申文案とすることで決定。

(3) その他

- ・11月26日(月)10:00に審議会を開催し、計画書案の最終決定を行うとともに、町長宛て答申することで決定した。

3 閉 会